

仕事と生活の調和を図る

建コン協 女性技術者交流会

建設コンサルタンツ協会九州支部の女性技術者委員会は10月30日、福岡市内で「私のワークインライフ（Work & Life）の関係性」をテーマにした第8回女性技術者交流会を開いた。写真。ワーク・ライフ・バランスを充実させる仕事との向き合い方や社内制度の活用事例を学んだほか、職場環境などについて意見を交わした。

冒頭、竹尾美幸委員長（基礎地盤コンサルタンツ）は、これまでの交流会を振り返り、

「テーマが『どうやって働き続けるか』から多様性や管理職、ワーク・ライフ・バランスなどへ変遷しており、業界での女性の立ち位置の変化を感じる。同じ業界で働く仲間として、交流会に臨んでほしい」とあいさつした。

交流会は2部構成となり、第1部では建設コンサルタンツで働く女性技術者5人が「わたしの働き方」をテーマに、それぞれの働き方や社内制度を紹介した。

第2部はワールドカフェ形

式で、会社の制度・取り組みやプライベートとの両立、職場環境などをテーマに、自由に意見を交わした。

制度では「時差出勤について初めて知った。自社でも導入してほしい」といった意見や、育児休暇の取得促進では「取得すると部署にインセンティブ（優遇措置）が出る制度で取得率が向上した」などの事例紹介があった。

職場環境では「女性が多い職場では出産・育児休暇の取得時期が重なりやすく、引き継ぎが十分にできない」という現状の課題に対し、「休暇取得を見据えた職場全体での受注量調整」「引き継ぎなどのサポートをした社員への賞与」などの改善策を挙げた。

